

ピアラ 台湾の越境支援強化

継続サポートなど支援領域拡充

通販支援を行うピアラ（本社・東京都渋谷区、飛鳥貴雄社長）が越境EC支援を強化する。これまでは、集客など新規獲得領域、物流・決済などフルフィルメント領域の支援が中心だった。今後は、継続的な関係構築を見据えた支援施策を拡

事業を拡大する。

台湾では、国内企業の販路構築や集客に向けたマーケティング、受注・発送などフルフィルメント業務を支援していた。今後は、より現地のユーザー特性に合わせた支援施策を強化する。

越境EC支援の強化は、台湾から始める。今年3月、連結子会社の台湾比智商貿股份有限公司（以下、PG台湾）のオフィスを移転。

への卸販売、台湾で販売力を持つインフルエンサーを活用したソーシャルコマースなどEC以外の販売を支援する。

CRM領域では、コールセンターと連携して既存顧客へのアウトバウンドや解約防止施策を展開する。台湾に特化したカートシステムとも独自に連携。新規獲得からCRMまで一気通貫でサポートし、日本国内から遠隔で管理できる体制を構築する。このほか、動画プロモーションなどデジタルマーケティング支援、現地法人の設

集客施策では、現地ローカライズを強化する。例えば、これまで国内で実績のあるランディングページ（LP）の翻訳などにとどまっていた。今後は、現地ユーザーの特性に応じた文言提案など、独自のクリエイティブ

立や現地生産体制の調整などもサポートする。

ピアラは現在、中国、タイ、ベトナムに拠点をもち、アジア各国を中心に越境EC、進出支援を行う。一部の国では飲食店に併設した店舗運営など、独自販路も持つ。台湾法人は19年7月に設立した。

台湾国内のEC市場は過去10年で年平均8%増で成長しているといる。昨年は、前年比16.7%増と成長した。